

1 市民を対象とした議会報告会

テーマによる意見交換での意見・要望等

テーマ I	デジタル化した市民サービスについて ～便利で安心な市民サービス～
意見交換の テーマ内容	マイナンバーカードについて、「市民サービス」、「地域活性化」、「行政経営」の3つの視点から、行政と市民生活のデジタル化の意義を伝えながら報告会参加者のマイナンバーカードに対する認識度の把握や、意見や要望の把握を試みる。
市民の意見等	<ul style="list-style-type: none">・マイナンバーカードの登場は、市庁舎開庁時間帯に出向けない市民には、24時間営業のコンビニでも諸証明の交付が可能となり、手数料も格安で歓迎している。・取得推進策のポイント付与でカードを取得したが、取得後、「もともと取得していた人には不平等になるので…」の思いが募った。・マイナンバーカードを作るのに時間がかかりすぎる。・様々な情報の一元化が進んでいるマイナンバーカードのセキュリティに不安を感じている。情報流失の不安はないか。・マイナンバーカードの取得と利用、さらに市民生活に向けての行政サービスのデジタル化は時代の流れとはいえ、高齢者にはハードルが高いと感じている人も多いはず。どのような手だてを考えているのか。
要望・提言等 (まとめ)	<ul style="list-style-type: none">・マイナンバーカードには、健康保険証に続いて、今後、運転免許証などが組み込まれるようだが、個人情報を一元化することにセキュリティ面で不安を抱いている。その不安の解消に向けての手だてを確立し広めてほしい。・マイナンバーカードを常に携帯しているが紛失が心配。紛失に気付いた際、どう対応すべきかに特化した対応マニュアルをカード取得時に添付してほしい。・高齢者を抱えている世帯で、救急車を要請し、市立中央病院に搬送され、入院することが度々あるが、その都度、煩雑な入院書類への記入を求められる。マイナンバーカードの提示による手続の簡略化を図ってほしい。・災害時には停電となることも多い。スマートフォンの管理は自己管理が原則であるものの、非常用の充電装置を広域避難所及び一時避難所に配備してほしい。